

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会要項、競技注意事項によって実施する。

2. 受付について

- (1) 競技者受付は正面スタンド入口付近の競技者インフォメーション(TIC)にて行う。その際、ナンバーカード、プログラムを配布する。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属等)があった場合は、第1日の11時15分、第2日の8時30分、または出場する競技の2時間前までに競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。記録確定後の訂正(記録証等の訂正を含む)には、一切応じない。なおプログラムの記載事項は、申し込みの際に記載されたデータをそのまま使用している。
- (3) プログラムは、残部がある場合に限り、競技者インフォメーション(TIC)にて販売する。

3. 競技用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳のポールを除き、すべて主催者が準備したものを使用するものとするが、練習については持参した個人の用器具も使用できる。ただし、破損・紛失等に関しては一切責任を負わない。

4. 練習について

- (1) 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(以下、駒沢競技場)には補助競技場がないため、本競技場内で練習を行うことができる。
- (2) 競技場内での練習は、競技に参加する者に限定する。
- (3) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技の運営上、練習を制限することがある。詳細については競技場案内図の「ウォーミングアップエリアについて」の欄に記載があるので予め熟読すること。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (4) 練習中の個人の荷物は各個人が責任を持って管理すること。
- (5) 周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。
- (6) ハードルの設置は以下のとおりとする。

設置時間	カテゴリー	設置場所
第2日 8:15~9:15	中 学	ホームストレート(4,5レーン)
	高校・一般	ホームストレート(7,8レーン)

- (7) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従って、競技開始前に各々の競技場所で練習を行うこと。
- (8) 棒高跳の練習は競技開始60分前から競技実施場所で行うことができる。

5. 招集について

- (1) 招集所は100mスタート付近に設ける。
- (2) 棒高跳の招集は競技場所で行う。
- (3) 各種目の招集時刻は、タイムテーブル記載のとおりとする。
- (4) 招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、同時に2種目に出場する者は、事前にその旨を競技者係及び審判員に申し出て、競技に参加すること。
- (5) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとみなす。
- (6) やむを得ない理由で欠場する場合は、競技者係に申し出ること。
- (7) リレーに出場するチームは、オーダー用紙をその種目の招集完了時刻の1時間前(競技開始時刻の80分前)までに競技者係(招集所)に提出すること。オーダー用紙は競技者係(招集所)に用意している。

6. ナンバーカードについて

- (1) 競技者は交付された大きさのままでユニフォームの胸と背に確実につけること。跳躍競技に出場する競技者はどちらか片方でよい。ナンバーカードは返却する必要はない。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバーを招集時に配布するので、スタートまでに右腰部やや後方につけること。競技終了後はその都度必ずフィニッシュライン付近で競技役員に返却するか、または返却用のかごに入れること。

7. 競技について

(1) トラック競技

- ① 計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② 小学生のスタートについて
スタートの合図は日本語とする。不正スタートについては、全国小学生陸上競技交流大会のルールに準じる。
(1人が2回不正スタートを行った場合は失格とする。ただし、競技には参加させ記録は参考記録とする。)
- ③ 中学生のスタートについて
警告対象として2枚のイエローカードの提示を受けた競技者について当該種目のみを失格とする。
- ④ 準決勝・決勝の組み合わせ・レーン順は主催者が公平に番組編成し、その結果を招集所付近に掲示する。
- ⑤ セパレートレーンで行う競技は、競技者の安全のために、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走り抜けること。
- ⑥ 中学100mは予選のタイム上位24名で準決勝を行う。
- ⑦ 小学100m、高校・一般100m、共通400m、中学100mH、高校・一般100mH、中学800mは予選のタイム上位8名で決勝を行う。
- ⑧ 中学1500m、共通3000m、4×100mRはタイムレースで順位を決定する。
- ⑨ 中学800m予選のスタートはオープンで行う。
- ⑩ 高校・一般800mは組により1つのレーンに2名の選手が入ることがある。
- ⑪ 中学1500mは当日の参加選手数20名程度を基準とし、1組とする場合がある。
- ⑫ 3000mは、最後の1周(2600m付近)をスタート後13分以内で通過できない場合、競技を続行することはできない。
- ⑬ リレー競技のマーカ―は各チームで粘着テープを用意し、レース終了後に必ず自チームで処理すること。
- ⑭ 小学生100m予選、4×100mR決勝ではスターティングブロックは使用しない。スターティングブロックの使用は100m決勝のみとする。
- ⑮ ハードル競技の規格は以下のとおりとする。

	1台目まで	インターバル	高さ
中 学100mH	13.0m	8.00m	0.762cm
高校・一般100mH	13.0m	8.50m	0.838cm

(2) フィールド競技

- ① 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7
中 学	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51
高校・一般	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56

上記以降最後の一人になるまで3cm刻みとする。

なお、天候等の状況により審判長の判断で始めの高さやバーの上げ方を変更する場合がある。

- ② 棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7
共通	任意の高さ	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m35

上記以降最後の一人になるまで5cm刻みとする。

なお、天候等の状況により審判長の判断で始めの高さやバーの上げ方を変更する場合がある。

- ③ 中学走幅跳の予選通過標準記録は4m70とする。予選通過標準記録に達した競技者が12名に満たない場合は、記録上位者12名が決勝に進出するものとする。
- ④ 高校・一般走幅跳は2回の試技を行い、上位8名が更に2回の試技を行う。
- ⑤ 投てき器具の重量は以下のとおりとする。

種目	中学砲丸投	一般・高校砲丸投	一般・高校やり投
重さ	2.721kg	4.000kg	600g

- ⑥ 小学生のジャベリックボールスローは、助走距離は15m以内とする。スパイクシューズを使用してもよい。試技の際にはボール本体を持ち、オーバーハンドで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。

8. 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関して抗議がある場合、競技結果が電光掲示板により正式発表されて30分以内もしくは次のラウンドが行われる場合は15分以内に、チームの公式な代表者が競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。

9. 表彰について

- (1) 各種目第1位～第8位までに賞状を授与する。
- (2) 各種目第1位～第3位の入賞者は表彰を行うので、競技終了後、競技役員の誘導及び指示にしたがうこと。
- (3) 各種目第4位～第8位の入賞者は、競技終了30分後以降に正面スタンド下の表彰係にて賞状を渡す。
- (4) 賞品として各種目の優勝者にはニューバランスジャパンよりロゴバックパック、ランニングアームポーチ、ティファニーよりダブルブルーハートペンダント、2位、3位入賞者には公益財団法人東京都スポーツ文化事業団より賞品が贈呈される。

10. 商品名のついた衣類やバッグ類等について

競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、テープを貼るなどして隠すこと。

11. その他

- (1) 競技中において、競技実施場所及びスタンド下ダッグアウトからの助言(指導)は禁止する。
- (2) 競技場所以外でスパイクの着用はしないこと。
- (3) 競技中の事故については主催者で応急処置はするが、以後の責任は負わない。
- (4) 盗難については、主催者は責任を負わない、各自の荷物管理には十分気をつけ、更衣室等に置いたままにしないこと。
- (5) 環境への配慮は十分気をつけ、各自のゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 競技の記録は招集所付近にも掲示する。
- (7) 本競技会において記録証を1部300円で発行する。希望者は競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。最終受付は15:00とする。(大会終了間際是对応できない場合があるので、希望者は早めに申し出ること。)
- (8) カメラ・ビデオの撮影は、出場団体・学校と選手の家を除き、必ず本部で許可を受けること。
- (9) 届けられた拾得物については、競技者インフォメーション(TIC)にて保管する。保管期間は大会終了時までとし、それ以降については、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場が管理する。